

小雨の中で『千歳のまちの航空祭』のテープカット



来場者数1万1千人

防衛省アンバサダーを迎えた航空祭

佐藤会長、朝倉相談役、守谷専務理事の3名は、渡邊第2航空団司令とともに司令部応接室で横田千歳市長を迎えた。

防衛省アンバサダーの志田音々氏加わり、和やかに懇談を行った。

一行はオープニングセレモニー会場へ移動し、千歳航空少年団の佐藤陽翔さん、中村美羽さんと合流。佐藤会長、渡邊司令、横田市長、そして一日基地司令に任命された志田氏の6名で、小雨の中でテープカットを行った。



防衛省アンバサダー 志田音々氏と横田千歳市長

ブルーインパルス不在でも魅せた

今回はブルーインパルスの派遣がなく、小雨の天候と重なり来場者数は1万1千人と発表された。

北空音楽隊とANAオーケストラによる演奏、特別航空輸送隊の職種紹介、政府専用機のバックパケルを用いた隊員との記念撮影、F-15のコックピット展示、エンジンの取り外しと油圧作動作業の実演、管制業務体験、厚生センターでの野点など多彩な催しと、三沢



政府専用機とF-15Jの機動飛行



F-35訓練飛行



北空音楽隊とANAオーケストラ

基地から飛来したF-35の訓練飛行、千歳救難隊の救難展示、千歳基地所屬機による異機種混合航過飛行、F-15の機動飛行で1万1千人の来場者を楽しませた。

昨年の反省を活かした前夜祭

令和7年度「千歳のまちの航空祭前夜祭」は、9月6日17時よりホテルグランテラス千歳にて開催された。これに先立ち、千歳会役員は15時30分に集合し、受付手順等を綿密に確認した。

昨年の運営を振り返り、改善策として今回の前夜祭では、出席者に基地から事前に郵送された、左側が無地、右側が背景付きの名札を受付に提出していただき、係員が背景付き部分を切り離すことで、名簿との照合および会費の授受の確認作業が効率化された。

その結果、331名の参加者は滞りなく会場へと案内され、前夜祭は円滑に幕を開けた。なお、無地の名札は受付員がカードケースに収め、ネームプレートとして参加者に装着していただいた。

続いて登壇した渡邊第2航空団司令は、佐藤会長の発言に触れつつも、「天候はすべて私の不徳の致すところ」と、真摯な姿勢で挨拶を述べた。

その後、品田副市長が横田市長の挨拶状を代読。松倉市議会議長の乾杯の発声で前夜祭が本格的に始まり、前夜祭の締めくくりにも島元空将が、「明日は雨が降っても誰の責任でもない」と佐藤会長らに挨拶を受けて力強くユーモラスに中締めを行った。

その後、品田副市長が横田市長の挨拶状を代読。松倉市議会議長の乾杯の発声で前夜祭が本格的に始まり、前夜祭の締めくくりにも島元空将が、「明日は雨が降っても誰の責任でもない」と佐藤会長らに挨拶を受けて力強くユーモラスに中締めを行った。



613名参加の祝賀会

祝賀会の受付業務のため、8時に千歳会役員が基地内の厚生センターに集合。役員は倫理規定上、現金取扱いができないため、名簿確認を隊員が担当、会費の受取りを千歳会が担当した。

11時30分、体育館にて渡邊第2航空団司令の挨拶を皮切りに祝賀式が始まり、佐藤会長による乾杯の発声で祝賀会が進行した。

